

## 2 児童養護関係

### 1) 入退所児童数 (26.4.1~27.3.31)

月	在籍数	入所	退所	一時保護	入所児童	退所児童
4	35	1	1		里親委託不調(小3)	家庭引取(幼児)
5	35					
6	35					
7	35					
8	35					
9	35					
10	35					
11	35					
12	35					
1	35					
2	35					
3	35		1			小学生1名 (家庭引取)
合計	420	1	2		1	2

### 2) 退所先別 (26.4.1~27.3.31)

退所先	人数	男児	女児
家庭	2		2
里親委託			
就職			
措置変更			
合計	2		2

### 3) 児童相談所別児童数 (27.5.1)

児童相談所	中央	南	熊谷	川越	越谷	所沢	さいたま市	合計
男児	2	1	5	8	0	4		20
女児	1	1	5	1	2	1	4	15
合計	3	2	10	9	2	5	4	35

4) 年齢別在籍児童数 (27.5.1)

	幼児					小学生						中学生			高校生			計
	1才	2才	3才	4才	5才	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
男		1	2	1		1	2	2	2	2		1	2	2	1	1		20
女			1		1	1				2	2	1	2		2	2	1	15
計	6					14						8			7			35

5) 措置理由別児童数

措置理由		平成 26 年度 (H26.4.1)	平成 27 年度 (H27.5.1)
家出	父		
	母		
	父母		
死亡	父		
	母		
	父母		
疾病	父		
	母		
	父母		
離婚		8 (22.8%)	8 (22.8%)
棄児			
虐待	身体的虐待	5	5
	心理的虐待	4	3
	性的虐待	2	2
	ネグレクト	2	2
		37%	34.2%
親の精神障害		2	3
服役		2	2
未婚の母の子		4 (11.7%)	4 (11.7%)
経済的困難		2	2
その他		4 (里親委託解除) (11.7%)	4 (里親委託解除) (11.7%)
合計		35	35

① 26 年度の入所児童数は 1 名 (小学生 1 名)

入所理由は、26 年 3 月末に里親委託により措置解除となった児童であったが、委託後すぐに委託不調となり再入所となったケースである。

全体的には虐待ケースが約 34% と大きな割合を占めている。上記ケースのような里親委託が不調となり、再入所というケースも増えてきている。

② 退所児童数は 2 名で 2 名とも家庭引取となっている。

6) 年間行事

行事の種別	期日	実施内容
園内行事 (全体)	4月 5月 7月 12月 1月 3月	入園入学を祝う会 創立記念祭(さんあい祭り) ガーデンパーティー クリスマス会 もちつき・2分の1成人式 卒園卒業を祝う会 栄養指導「手洗いチェック！」
グループワーク活動	7月 8月 9月 11月 2月	ザリガニ釣り(小学生6名)×2回 冒険キャンプ～秩父フォレストアドベンチャー～ (埼玉県野活キャンプ場:小6～中3=11名) 2014群馬地区「教会こどもの集い」小学生全員参加 寄居風布山みかん狩りハイク(小3～5年=8名) クッキング(幼児～小4=9名) スポーツ大会～岡部B&G体育館～ (幼児～中学生まで全員参加)
カフェさんあい	6月 9月 11月	「コンゴ民主共和国の子ども達」 ～食べ物を大切にしよう～ 「ベトナムを知ろう！」 タンさん ～ベトナム料理を食べてみよう～ 「インドネシアのお話と食事」 岡田さん
アートボランティア (ポール・リチャードさん)	6月 9月 11月 2月	「感情を絵に描いて表現してみよう」 「ハロウィンお面作り」 「クリスマス人形作り」 「発砲スチロールでスタンプ作り」
招待・地域行事 (部屋で対象児童を調整)	4月 5月 8月 10月 11月 3月	サーカス招待(モラージュ) わくわくコミュニティプラザ(深谷JC主催事業) 西武ライオンズプロ野球観戦招待(他8月にも) 大宮アルディージャサッカー観戦招待(他6月にも) おかあさんといっしょスペシャルコンサート招待 軽井沢おもちゃ王国招待 大宮アルディージャサッカー観戦招待 VOXRAYさんあいクリスマスコンサート開催 サムライロック・オーケストラ招待 深谷市親子映画鑑賞会招待(深谷シネマ)
子ども会行事 (小学生対象)	6月 7月 8月 9月 11月 12月 1月 2月 3月	七夕祭り 岡子連球技大会練習(土日に7回実施) 櫛挽夏祭り・岡子連球技大会・ラジオ体操 岡部地区体育祭 岡子連縄跳び大会 クリスマス会 岡子連カルタ大会 食事会(親睦会) 歓送迎会

各部屋行事 (特別外出・宿泊行事)	8～ 1 月	榛名湖温泉コテージキャンプ・河口湖桃狩り旅行 軽井沢おもちゃ王国・新潟県鯨波海水浴と水族館 水上高原スキーリゾート(スキー体験)×2部屋
(部屋外出行事)	通年	NHK 見学・小川げんきプラザプラネタリウム 東京スカイツリー・古代蓮の里・東京ディズニーラン ド・ホテル観賞会(皆野町)・華蔵寺公園・としまえん 農林公園・日帰り温泉・アンパンマンミュージアム 赤城山雪遊び・川の博物館・各種映画鑑賞・初詣 その他、市内外の買い物や食事

7) 職員研修関係

主催団体・機関	研修会内容
県教育局	児童虐待アフターケア研修
県社協	情報管理研修・感染症セミナー・トップマネジメント研修 スーパービジョン基礎研修・管理者研修
全養協	全国施設長会議・中堅職員研修
埼玉研・埼玉協	施設長県外視察研修(沖縄県)・新任職員研修・職員派遣研修 心理職研修・施設長職員合同研修・調理職関係研修 基幹的職員フォローアップ研修・テーマ別性教育研修 前年度新任職員フォローアップ研修・基幹的職員養成研修 CSP トレーナーロールプレイ研修
関東ブロック	関東ブロック施設長研修・事務職員研修
その他	深谷市虐待防止講演会(要対協主催)・里親制度実務者研修 熊谷保健所管内給食研修・コモンセンスペアレンティング研修 資生堂フォローアップ研修・性教育研究学術大会 子育てワークショップ・キリスト教連盟セミナー 里親支援研修・防災研修・武蔵野学院育て育ち研究会 ふたばふらっとホームセミナー・埼玉県施設士会管理者研修 第20回 ISPCAN/JASPCAN・養育力向上セミナー 深谷市教育研究所講演会全4回・ライトハウス子ども支援セミナー 第17回子ども虐待シンポジウム・自立援助ホーム分科会研修会 児童養護施設愛泉寮メンタルヘルス研修 児童養護施設ふれんど園内研修・児童養護施設雀幸園園内研修 愛泉児童家庭支援センターセミナー
園内研修 主催セミナー 講演会	*施設内職員研修 さんあい SV(スーパーバイザー)である「まめの木クリニック」 の藤井和子先生によるペアレント・トレーニング及びケースカンフ ァレンスの実施 *さんあいセミナー① 9/17(水) 「発達障害の理解と支援」 藤井和子 氏 (まめの木クリニック) *さんあいセミナー② 1/16(月) 「虐待と脳への影響」(里親合同セミナー) 山本恒雄 氏 (日本子ども家庭総合研究所)

## <児童養護施設「さんあい」平成26年度事業実施報告>

### 1 重点目標

#### 1) 「小生活単位養護」を認識し、養護内容・養護形態・職員体制の内容充実に取り組む

##### 【実施状況】

- ・部屋作り  
部屋単位での行事や外出などを実施する中で、部屋としてのまとまりや担当保育士や指導員との良好な関係が作られている。  
家庭を知らない子ども達・不適切な養育環境に置かれてきた子ども達にとって、将来家庭を持った時のモデルとなれるような養育環境を目指し各お部屋での食事作りを実践している。
- ・会議の充実  
毎週水曜日を「会議の日」とし、職員会議、リーダー会議、処遇会議、ブロック会議、運営会議、各委員会会議を行なっている。
- ・「養護要綱」の見直しを行い新しく作り直し全職員へ配布、会議を利用して読みあわせをしながら、再度理解を深めている。

#### 2) さんあい生活する児童が「安心」と「信頼」の人間関係の中で生活をし、心の健康を回復し、よりよく自立できるように支援する

##### 【実施状況】

- ・部屋の話し合いを実施し、子どもの意見を聞きながら外出等の行事計画を立て、大人と子ども、子ども同士で何でも言える人間関係作りに努力している。
- ・生命と身体、心の安全が守られるような職員の眼として、常時、それぞれの部屋に必ず1名の職員がいるように、勤務調整を行なっている。
- ・年齢に合わせた性教育の実施
  - <男の子>
    - ・中高生を対象とした「男の子の心とからだ」という内容で性器やマスターベーションについて、副主任と一緒に資料を見ながら適切な知識と対応方法を学んだ。
    - ・高学年を対象に性描写がある漫画や雑誌等への興味や取扱いについて学んだ。
  - <女の子>
    - ・自分の体の理解  
担当保育士と一緒に資料を見ながら「生理」「女の子の体の成長・変化」「入浴時の洗い方」について学んだ。
  - <男女混合>
    - ・CAP (Child Assault Prevention) 「子どもへの暴力防止」ワークショップを実施  
年齢別に5つのグループに分けて、各グループとも2～3回に渡り、「安心する権利」「自信を持つ権利」「自由に生きる権利(選択の自由…結果に責任を持つ)」の3つの権利について、ロールプレイなどを用いて相手の立場になって考えることにより、自分だけでなく友人など周囲の人の「安心・自身・自由」を考えてあげることの大切さを学んだ。職員向けワークショップでは小学校の教員も参加して共に学ぶ機会を設けた。

### 3) 児童養護施設における自立支援機能の更なる充実を図る

#### 【実施状況】

- ・「児童養護施設管理システム」を毎日の処遇計画に活かせるようにしている  
毎日の日誌をはじめ、毎月の育成記録、心理面接、児相・家庭との連絡の記録として活用するとともに、管理システムを利用した業務の短縮化を図っている。
- ・「自立支援計画書」に基づき処遇・養護計画を確実に実践していく  
ファミリーソーシャルワーカー、主任を中心に児童相談所、保護者との連携を密に行い、自立支援計画の再評価も適時行なった。

### 4) 専門職及び関係機関との連携を一層強化し、児童の最善の利益を追求する

#### 【実施状況】

- ・児童相談所との連携  
年 2 回、児童相談所ケースワーカーとの協議の場を設け、短期、中期、長期のケアプラン（自立支援計画）の見直しと児童の面接の実施を行なっている
- ・ファミリールーム（親子訓練室）の利用  
家族でゆっくりと過ごせるスペースとして保護者の方から好評である。  
生い立ちの整理（ライフストーリーワーク）など、落ち着いて子どもと 1 対 1 で過ごせる空間としても有効活用している。
- ・治療的ケアの必要な児童に対する専門職の活用  
常勤の心理士による心理面接を実施。26 年度は、小学生 8 名、中学生 4 名が週 1 回、50 分の面接を実施した。  
また、児童相談所心理士による心理判定や心理面接も実施した。  
深谷市教育委員会によることばの教室グループ活動に 1 名、中学校通級指導教室（セルフサポート）に 1 名の児童が利用した。
- ・学校との連携を深める  
小中学校との定期的な話し合い（支援学級協議・連絡協議会）の場を持つと共に、必要に応じて担任教師との話し合いの場を設け、担当や心理士による授業見学等を行い、理解を深めている。

### 5) 入所児童のよりよい援助者として職員の資質向上を図る

#### 【実施状況】

- ・園内研修の充実
  - \*ペアレント・トレーニングの実施（講師：まめの木クリニック 藤井先生）  
全職員でペアレント・トレーニングを学ぶことで、子どもへの共通の理解や対応と共に、子どもの良い行動を褒めて伸ばすという視点を大切にしている。
  - \*さんあいセミナー「発達障害の理解と支援」9/17（水）  
講師：まめの木クリニック 藤井和子 先生
  - \*さんあいセミナー「虐待と脳への影響」1/16（月）【里親合同セミナー】  
講師：日本子ども家庭総合研究所 山本恒雄 先生
  - \*ケースカンファレンスの実施（さんあい SV：藤井和子先生）
- ・外部研修への参加  
職員研修関係にもある外部研修への参加等により個々並びにチーム・組織としての資質向上に努めている。

## 6) 家庭的養護の必要性への理解を深める

### **【実施状況】**

- ・小規模グループケアの実施（平成 26 年度は 2 部屋が対象となった）

## 7) 地域との交流及び養護支援の充実を図る

### **【実施状況】**

- ・ 櫛挽子供会への参加、深谷まつり、深谷青年会議所イベントへの参加
- ・ 深谷市要保護児童対策協議会（月 1 回、ファミリーソーシャルワーカー）への出席
- ・ 「ショートステイ事業」への支援  
26 年度は深谷市、本庄市、寄居町と契約を結び本庄市より 3 名・計 6 回の受け入れを行った。
- ・ ボランティアの参加  
学習ボランティアとして近隣大学の学生を中心に子ども達の勉強を見ていただいた。創立記念祭（さんあい祭り）には、元職員・支援者・深谷青年会議所・各大学専門学校などの学生など約 90 名のボランティアスタッフが活躍してくれた。
- ・ 将来の社会的養護を担う人材育成として、各養成学校から実習生受け入れを実施。  
平成 26 年度は保育士実習 18 名、心理士実習 3 名、教員実習 1 名を受け入れ。
- ・ 里親委託推進のため、養育里親及び専門里親研修の受け入れを実施。  
平成 26 年度は養育里親研修 1 家庭、専門里親研修 1 名を受け入れ。
- ・ ふれあい交流事業として未委託の里親家庭を対象に研修や施設行事への参加、学校行事への同行などを実施して、子育てにおける地域や学校との繋がりを学ぶ場を設けている。